

WS①: ルーリングペン バリエーション

ルーリングペンは、1950年代にドイツのカリグラファー、ヴェルナー・シュナイダー、フリードリッヒ・ポップル、ゴッドフリード・ポットが豊かなカリグラフィーの表現を追及する中で使われ始めました。現在では、熟練したカリグラファー達にとって、自由な手書き文字の探求や独創的なストロークによるカリグラフィー文字の表現のために不可欠な道具となっています。

イタリック体を始めとするいくつかの伝統的な書体をきちんと書ける方であれば誰でも、一般的なルーリングペンを使って書くことから、市販されている様々なルーリングペンの違い、フォールデットペン(金属を折り曲げて作ったペン)やよく知られている「コーラペン」のような手作りのペン先で書く表現まで、楽しむことができます。

このワークショップでは、最初に多くの法則に基づいた練習から始め、ストロークのコントロール、文字の形、書くりズムなどの一連の練習を通して基本的なテクニックを習得し、最終的には、これらのペンを使った自由な表現方法に取り組みます。



ルーリングペンで西洋的書体から東洋的書体まで様々な文字を書くことによって、手書き表現を楽しみ、スキルを磨く素晴らしい機会になることでしょう。

2016年10月29日(土)・30日(日) 10:30 – 18:00
IID 世田谷ものづくり学校 3階 Studio にて

<参加者のスキルレベル>

伝統的なカリグラフィー書体を複数習得している方。

<持ち物リスト>

ワークショップの受講が確定した時点で、お知らせいたします。